

写真を見る

写真「鑑賞」って？

オート機能のデジカメで、誰でもそれなりにキレイな写真が撮れるようになった。でも、ふと撮った写真は、なんだかちよつと物足りない。

カメラの扱いや撮影テクニック基本はおさえているつもりだけど、なぜか上達しない。

写真実践賞座 写真鑑賞講座

今年もやります！
熱血・石井仁志の

目をみがく

風景や人や花、同じものを撮っているようでも、プロの写真は、どこかが違う。いったい何が違うの？

それって、もしかして、「鑑賞眼」が足りないのかも！

2012 年より、モノクロ写真の魅力と醍醐味を味わうことから始まった
「写真実践鑑賞講座」

今回はなんと 鑑賞の極意から写真展をつくるまでの実践体験！

白黒の明度と彩度だけで構成されたモノクロ写真は、その歴史のなかで、アングル、構図、またアナログな撮影・印刷技法によって、さまざまな味わいと多様性、カラー写真にはない個性と魅力を生み出してきました。

そこに色加わり、さらには「デジタル」という旧来の化学から科学へと移行した技術革命は、いま写真の世界にあらたな展開を見せています。報道・広告・芸術・カルチャー・さらにはネットに氾濫する膨大な画像…「写真」と一口には語れない、多様な広がりを見せる現代ですが、どちらにおいても言えることは、「写真」には写す人・見る人の「視座」が重要であるということ。

いい写真、魅力的な写真とは何なのか？

実際の写真の見方から、観る力を鍛え視座を作る方法。また、撮影行為と鑑賞をどのように結び付けていったらよいのかをテーマに学ぶ、

「鑑賞」という視点から実践的に写真にアプローチする、
新規軸の講座です。

* 視座—(人が見ることを重ねて獲得した、他の人とは違った)ものごとの見方。
視座の形成の上に写真は作られる。

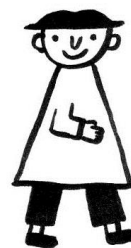


Illustration : HASUIKE Momo

砂丘館

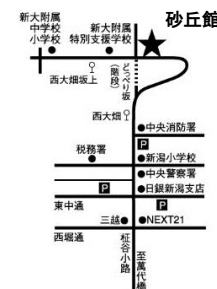
旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1

tel./fax.025-222-2676

sakyukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者:新潟絵画・新潟ビルサービス特定共同企業体



会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。
●新潟駅からバス:西循環(12・12A系統)又は観光循環バス「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分

昼の部 鑑賞力の極意を知る 6月-10月 全5回
夜の部 自己表現で写真展を創る 6月-10月 全5回

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

新潟日産自動車株式会社

やぐあられ 株式会社

NSGグループ

株式会社ナレッジライフ

新潟ビルサービス

丸屋本店

郷土の文化に親しむ会